

第7章 廃棄物処理

1. 廃棄物処理問題

日本の廃棄物排出量は、大量生産・大量消費が進んだ高度経済成長期を通して、生活様式の多様化とともに大幅に増加しました。その伸びは、オイルショックで一時的に減少したものの、バブル期に再び増加に転じ、現在に至っています。政府は、廃棄物排出量の増加を食い止め、循環型社会を形成するための各種廃棄物対策関連法を制定し、廃棄物排出量の削減・リサイクルを推進しています。

2. 瑞浪市の状況

本市では、ごみ減量とリサイクル推進のため、ごみの出し方出前講座、マイバッグ使用の推奨、ごみ処理施設の見学会、生ごみ堆肥化装置等購入補助金、集団資源回収奨励金など、様々な対策を行っています。

平成26年度のごみ処理総量は15,325tで、前年度比で2.7%減少しました。家庭からの一人一日当りのごみ排出量は717gで、前年度より11g減少しました。一般廃棄物における事業系並びに家庭からのごみが減少する結果となりました。

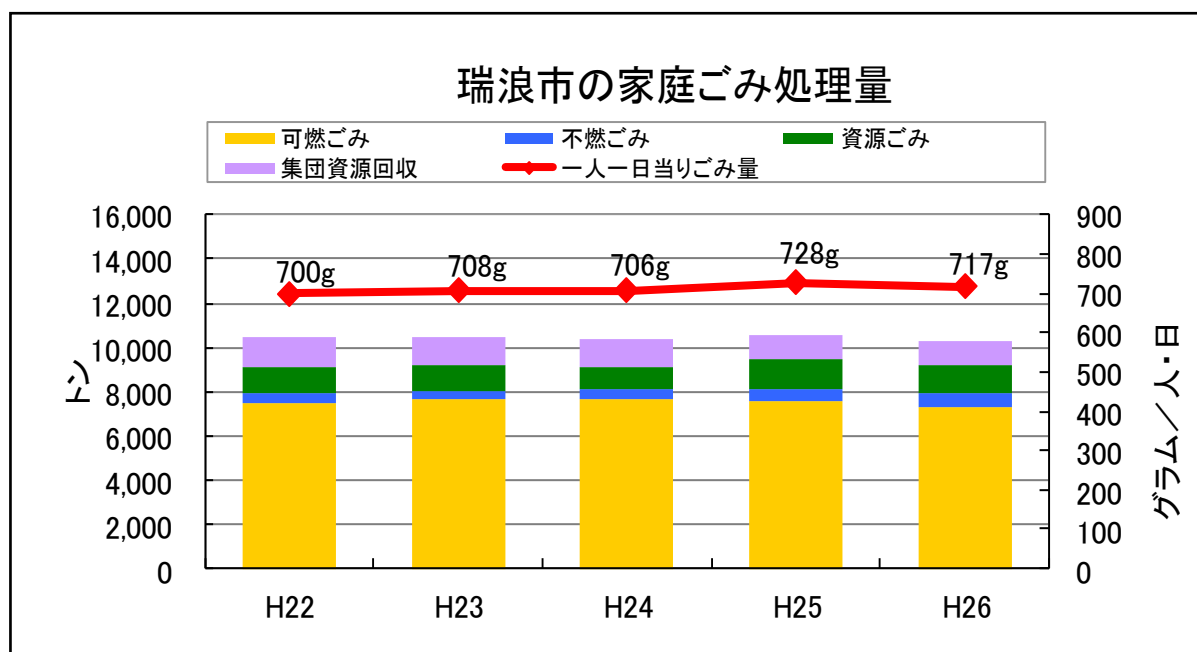


表 2 2. 可燃ごみ・不燃ごみ処理量の推移

(単位:t)

項目		年度	H22	H23	H24	H25	H26
可燃ごみ処理	直営収集		7,211	7,338	7,382	7,241	7,012
	許可業者		2,824	2,883	3,075	3,124	2,987
	事業持込		395	471	529	407	435
	個人持込		296	306	320	331	296
	汚 泥		60	62	49	51	44
	小 計		10,786	11,060	11,355	11,154	10,774
不燃ごみ処理	直営収集		538	527	548	554	507
	許可業者		14	14	15	15	17
	事業持込		770	799	892	590	642
	個人持込		77	77	89	106	105
	焼却灰・スラグ		959	1,078	1,110	1,083	990
	金属等持出		-233	-212	-273	-165	-47
	小 計		2,125	2,283	2,381	2,183	2,214
合 計		12,899	12,911	13,343	13,736	12,988	

直営収集・・・市の地区収集量

許可業者・・・一般廃棄物収集運搬許可業者による搬入量

事業持込・・・事業者の持込量

個人持込・・・個人の持込量

汚 泥・・・浄化センターからの下水処理汚泥搬入量

焼 却 灰・・・クリーンセンターからの溶融飛灰持込量

金属等持出・・・不燃物最終処分場から業者への金属引渡り量

表 2 3. 資源ごみ処理量の推移

(単位:t)

項目		年度	H22	H23	H24	H25	H26
かん類	スチール		41	46	20	31	26
	アルミ		41	31	31	54	42
	小 計		82	77	51	85	68
びん類	カレット白		103	86	108	115	117
	カレット茶		134	100	105	99	106
	カレット雑		47	36	49	59	47
	リターナブル 本/t		31,418/29	31,530/29	27,034/25	21,100/19	26,486/23
	小 計		313	251	287	291	293
その他	ペットボトル		86	81	75	82	82
	紙パック		2	3	2	3	3
	古着		32	43	35	46	44
	トレイ		8	7	1	10	1
	廃食油 ℓ/t		7,610/8	7,200/7	7,490/7	7,800/8	8,000/9
	古紙・ダンボール		414	508	409	591	522
	金属		210	154	208	225	245
	スラグ		78	0	0	0	0
	小 計		838	803	737	964	906
合 計		1,184	1,131	1,075	1,341	1,267	

表 2 4. 集団資源回収量の推移

(単位:t)

項目	年度	H22	H23	H24	H25	H26
紙 類		1,288	1,199	1,104	981	978
布 類		91	100	92	78	77
アルミ缶		6	6	6	5	5
牛乳パック		8	8	7	6	6
リターナブルビン 本/t		3,148/3	3,958/4	7,594/6	5,033/4	5,601/4
合 計		1,396	1,317	1,215	1,073	1,070

表 2 5. ごみ処理量とリサイクル率の推移

① 総処理量

(単位:t)

項目	年度	H22	H23	H24	H25	H26
焼 却		10,786	11,060	11,355	11,154	10,774
埋 立		1,211	2,283	2,381	2,183	2,214
資源化		1,768	1,144	1,075	1,341	1,267
集団資源回収		1,396	1,317	1,215	1,073	1,070
合 計		15,161	15,804	16,026	15,751	15,325

② 一般廃棄物の処理量

(単位:t)

項目	年度	H22	H23	H24	H25	H26
焼 却		10,331	10,527	10,777	10,696	10,295
埋 立		396	406	379	587	606
資源化		1,211	1,144	1,075	1,341	1,341
集団資源回収		1,396	1,317	1,215	1,073	1,070
合 計		13,334	13,394	13,446	13,697	13,312
リサイクル率		19.6%	18.4%	17.0%	17.6%	18.1%

③ 家庭からのごみの処理量

(単位:t)

項目	年度	H22	H23	H24	H25	H26
焼 却		7,507	7,644	7,702	7,572	7,308
埋 立		382	392	364	574	589
資源化		1,211	1,144	1,075	1,341	1,341
集団資源回収		1,396	1,317	1,215	1,073	1,070
合 計		10,496	10,497	10,356	10,560	10,308
一人一日当りごみ量		700g	708g	706g	728g	717g
リサイクル率		24.8%	23.4%	22.1%	22.9%	23.4%

3. 資源集団回収事業に対する奨励金交付状況

市ではPTA等で実施している集団資源回収を促進するため、古紙・段ボール・紙パックの紙類に対して4.5円/kgの奨励金を交付しています。

表26. 集団資源回収量と奨励金交付額

年度	紙類回収量(t)	奨励金交付額(万円)	奨励金
H17	1,561	703	4.5円/kg
H18	1,482	667	
H19	1,477	665	
H20	1,463	658	
H21	1,355	609	
H22	1,316	592	
H23	1,207	543	
H24	1,104	497	
H25	981	441	
H26	978	440	

4. 生ごみ堆肥化装置に対する補助金交付状況

生ごみは水分を多く含むため、焼却施設におけるエネルギー消費量を増加させてしまいます。市では、コンポスト・電気式生ごみ処理機の購入に対する補助を行い、生ごみの堆肥化を促進しています。

表27. コンポスト・電気式生ごみ処理機の購入補助件数

(単位:円/基)

対象機器 \ 年度	H22	H23	H24	H25	H26
コンポスト	50,100/14	33,800/8	30,400/9	43,400/12	20,000/6
電気式生ごみ処理機	180,000/9	180,000/9	100,000/5	160,000/8	280,000/14
合計	230,100/23	213,800/17	130,400/14	203,400/20	300,000/20

※ コンポスト購入補助(平成3年度～) : 購入額の1/2を補助(限度額:5,000円)

※ 電気式生ごみ処理機購入補助(平成10年度～) : 購入額の1/2を補助(限度額:20,000円)

※ 補助対象となる装置の限度数を1世帯につき1基から、コンポスト・電気式生ごみ処理機それぞれ1世帯につき1基へ変更(平成26年度～)

※ 補助対象となる装置を買い替える場合、すでに受けた交付決定日から5年を経過していれば、再度受給が可能(平成26年度～)